

No.3 Mくん (平成24年3月卒・現16歳) 沿岸・一本釣り船

Q. 仕事の内容は？

- * 祖父の船に乗り、二人で主に一本釣りをを行っている。
- * 基本は駿河湾内（沼津近海が主）での夜間操業で、17時頃出港し翌日5時頃、入港水揚げしている。漁獲対象は、タチウオ・クロムツ・アジ・サバなどを狙っている。
- * 特に、サバについては活魚出荷し、「駿河サバ」としてブランド化を目指す事業を僚船と共にやっている。
- * 水揚げ、片付け後に、昼前後まで就寝している。
- * 遊漁船業も要望があれば行っている。常連さんが多く、餌釣からシイラやバラムツを狙ったルアー釣も行っている。
- * 定休日は、市場の休みの日だが、祖父と二人なので、自分の都合で休みにしてもらうこともある。

Q. 大変だったことは？

- * 夜中の作業なので、釣れないときは退屈で眠くなってしまい、帰りたくなる。
- * 時々、まだ船酔いをしてしまう。
- * 大漁の時に、うっかり釣り針で怪我をしてしまった。操業中は常に気が抜けないと思った。

Q. 良かったことは？

- * 地元でも若い漁師が珍しく、先輩の漁師が何かと気を配ってくれて、声を掛けてくれることがうれしい。
- * 自分が頑張って釣ったぶんだけ、お金（給料）になる。
- * 珍しい魚が釣れるとワクワクする。

◆◆◆在校生へアドバイス◆◆◆

- * 給料をもらっている以上、船酔いしても体を動かして仕事をする。他人より多く釣るという気持ちが大切。(平成24年8月31日)



免許取立ての中型バイクにまたがって、颯爽と現れたMくん。就職してまだ半年に満たない彼ですが、仕事に対する責任感が満ち溢れ、生き生きとしていました。おじいちゃんの後継者として、一日でも早く独り立ちできるよう頑張ってください。